

ふるさとから祝福とエールを届けたい



成人おめでとう

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大切な成人式がやむを得ず中止となりました。

新成人から▶▶▶ふるさとへ



成人式実行委員長 細杉睦輝さん(前田)

僕達の世代で村を盛り上げたい

成人式中止を電話で聞いた時は驚きました。やっぱりきたか…と思う反面、信じたくない気持ちでした。僕達の成人式は、新型コロナウイルス感染症の対策で、そもそも式の後のパーティーなどは行わないことになっていました。それでも一生に一度の日と想っていたので、仕方ないことではあります。でも、今でも残念に思います。できればみんなが集まりたかったです。

僕は、4年生まで白石小学校に通いました。震災後は川俣中学校に間借りした教室で、その後は福島市飯野町の仮設校舎で学びました。村内の本校で卒業したいという願

いは持つていましたが、仮設校舎での学校生活にも、多くのよいところがあったと思っています。震災をきっかけに交流の機会が増えて、僕達にしかできない経験が数多くあったことに、感謝をしています。

僕達は、離れていても、今も村にお世話になり続けています。年上の皆さんのおかげで今の飯館があることに感謝をしています。だからこそ積極的に行動し恩返しをしたい。

杉岡村長が話している「いきいきした明るい村」に、まだ若い世代の力が足りていないと感じます。僕達の世代が自ら行動し、村と関わっていききたいです。例えば震災前のような運動会やロードレースを、自分達が企画して、村のよさを内外に伝えたり、工夫をしながら交流をしたり、個人的には駅伝への出場も続けていきたいです。

今まで僕達を支えてくれた全ての人に感謝を伝えたいです。

ふるさとから▶▶▶新成人へ

新成人の皆さまへ

飯館村長 杉岡 誠



新成人の皆さま、成人おめでとうございます。

1月10日に開催を予定していた飯館村成人式は、断腸の思いで中止をさせていただきました。皆さまに、またご家族に、感染リスクが及ばないように、との判断からです。

今後、成人式に変わるものを、実行委員の皆さまとも検討していきたいと思っておりますので、どうぞご理解のほどお願いいたします。

皆さまは、東日本大震災にも、原発事故にも、全村避難にも負けない「地力」をつちかした、飯館村の「宝」であり、ふるさとへの「希望」そのものです。

お届けした「いたての花」は、農家さんが心を込めてお育てになったものです。どうぞ、お花一つひとつに込められた「想い」という香りを楽しみ、中に、ご両親、ご家族、恩師の先生方、そして皆さまを支えてくださった村内外のさまざまな方々の、皆さまへの「想い」のほどを、味わい直していただけたら、ありがたいことだと思います。

「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」を、楽しみ、喜ぶ、「ふるさと」の担い手として、新成人の皆さま、お一人お一人が、それぞれの人生の中で、自らの地力を活かして、あらゆる経験を自らの糧として、社会人として、力強く、明るく、羽ばたいて行っていただきたいと思っています。

新成人の皆さまの前途が、光り輝く素晴らしいものでありますように、心からご祈念申し上げます。ご成人、誠に、おめでとうございます。

感染症対策に万全を期して行われる予定だった成人式。しかしながら新型コロナウイルス感染症の拡大傾向は、冬を迎えて、深刻さを増していきました。そしてとうとう12月21日、「飯館村新型コロナウイルス感染症対策本部会議」の中で、成人式は、やむなく中止されることが決まりました。

杉岡村長は、新成人に手紙を送り、関係者一同が断腸の思いで中止を決めたこと、新型コロナの影響が落ち着いた段階で、新成人の皆さんが再会できる機会を改めて設けたいことなどを、新成人に伝えました。

式の開催を楽しみにしていた新成人の皆さんに、少しでもお祝いの気持ちを伝えよう。村は、担当課である生涯学習課を中心に、多くの人の協力を得ながら、思いを届ける準備を進めました。

また、今回の成人式に協力をいただく予定だった日本テレビ放送網の皆さんが、特段のご配慮で、式が行われる予定だった1月10日に、オンライン交流会を開いてくださることになりました。

新成人の皆さんへ、心からの祝福を送りたい。その思いの中、いつもとは違う形で迎えた成人の日をレポートします。